

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成29年3月

1. 対象事業	紋別市合流式下水道緊急改善事業		
2. 実施主体名称	北海道紋別市		
3. 計画期間	平成17～21年度		
4. 対象事業の進捗状況	・夾雑物対策を予定した8箇所の雨水吐室について、スクリーン施設を設置した。 ・雨水滞水池2,000m ³ を平成22年度より供用開始した。		
5. 目標の達成状況と達成の見通し	・以下の3項目について、数値を用いて定量的な達成状況を記載すること。 ①汚濁負荷量の削減 ②公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数） ③夾雑物の削減（対策を講じた雨水吐の箇所数）		
	平成17年度(計画当初)	平成21年度(計画終了)	平成28年度(事後評価)
①汚濁負荷量の削減	・雨天時BOD負荷量 35,372kg ・削減量 0kg	・雨天時BOD負荷量 21,296kg ・削減量 14,076kg	・雨天時BOD負荷量 21,231kg ・削減量 14,142kg ≥ 14,076kg(目標)
②公衆衛生上の安全確保	・未処理放流回数 62回 ・削減率 0%	・未処理放流回数 31回 ・削減率 50%	・未処理放流回数 15回 ・削減率 76% ≥ 50%(目標)
③夾雑物の削減	・夾雑物対策率 対策実施率0%	・夾雑物対策率 対策実施率100%	・夾雑物対策率 対策実施率100% = 100% (目標) 全対象施設対策済
	・改善期限までの目標達成の見通し 当面の目標達成に必要な全対策の整備が完了し、供用開始済みである。		
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	・雨天時モニタリング調査(総降雨量:14.5mm)及びシミュレーション解析結果より、雨天時公共用水域への放流BOD平均が40mg/l以下となっており、整備効果の確認をする事ができた。 (雨水吐室:96.3mg/l、紋別アクアセンター:24.5mg/l、公共用水域:31.6mg/l)		
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	・「簡易処理施設の高度化」や「完全分流化」といった対策案と比較し、経済的かつ改善効果の発揮が可能な「雨水滞水池」を採用して、平成21年度までに事業を完了した。		
8. 今後の方針	・事業の完了により、現状で改善目標を達成できているが、継続的に観察及び水質調査を行い、環境部局とも連携を図りながら公共用水域の水質保全に努める。		